

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2018 年度 第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 2018 年 6 月 24 日（日）10：00～12:29

2. 会 場 ホテルリブマックス千葉美浜 2 階大会議室

3. 出席者

会 長	渋沢
副会長	相澤、奥野、大浦
事務局長	岡本(武)
会員理事	(総務委員会 広報部会) 山口(利)
	(総務委員会 企画部会) 樽林
	(総合相談委員会) 竹嶋
	(研修委員会) 浅見、宮本
	(ぱあとなあ委員会) 小川、鈴木
	(災害対策委員会) 常陸谷
外部理事	池亀、田中、山本
監 事	山口(定)、岡本(崇)
オブザーバー	市原、四ノ宮、服部、古澤、宮下 (50 音順)

敬称略

4. 議 題

(1) 会長と三役会からの報告

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

(事前資料によりご確認ください)

(3) 議事

① 平成 30 年補正予算について

平成 30 年消費税・市県民税の納税額確定に伴う租税公課の金額変更

② 個人情報取扱いについて

③ 役員報酬について

④ 平成 30 年度の三役及び各委員会担当理事について

⑤ 第 6 回定時総会について

5. 議事録

○ 出席者の確認

樽林事務局次長より、第 2 回理事会について現在、理事会出席者 16 名 定款第 34 条により定足数に達しており、本理事会は成立すると報告

また、6 月 24 日の定時総会承認後、新体制理事となられる 5 名の方が本日オブザーバー参加されている

○ 渋沢会長から開会挨拶及び三役会報告

- ・ このメンバーでの最後の理事会となった 2 年間、ありがとうございました

- ・ 月 1 回のペースで「倫理規則策定作業部会」を開催し、本会独自の倫理委員会に向けて準備を進めている あと 1 回作業部会開催後、みなさまへ素案を報告出来るところまで来ている
- ・ 日本社会福祉士会総会に出席した
- ・ 本日配布、7 月 8 日開催「生活保護基準引き下げ反対シンポジウム」について、関心ある方は是非ご参加いただきたい
- ・ 同じく本日配布させていただいた「県民公開講座」については、会場が商工会議所会館、日程は 8 月 26 日（日）と決定した こちらも奮ってご参加をお願いしたい
- ・ ぱあとなあ名簿登録員の方より以前からご要望いただいている件等については議事後でお話させていただく

○ 各委員会報告事項に対する質疑
各委員会資料の通り

（総務委員会 広報部会）

説明：総務委員会委員長

- ・ 理事会資料 P1、理事会年間スケジュールの HP アップを予定していることについて、HP でスケジュールをご覧になった方の傍聴ご希望があった場合について、ご意見いただきたい

質疑：

- ・ 議事録で HP に掲載しており、あえて傍聴を認めなくても良いのではないかと、個人情報や議事に含まれる場合に都度退席いただく判断難しいのではと考える
- ・ オープンが良いのでは、関心をもって来ていただける方に会員外も含めて傍聴していただいても良いのではと考える
- ・ 地区の代議員や世話人の方が地区の代表として来られるのは良いのではないかと
- ・ 弁護士会の委員会は、弁護士会に入っている方と司法修習生の傍聴は認めていたと思う
- ・ 司法書士会では議事録は開示請求があったときに対応、傍聴お申し出無いが規程も無い
- ・ MSW では 10 年間で記憶する限り傍聴は 0 件、年 2 回理事会開催後の午後、拡大理事会を開催し、お集まりいただいている 個人的には受け入れるべき、事前にインフォメーションして（個人情報取扱いの際にはご退席いただく等）受入が自然と考える
- ・ 千葉県のケアマネ協会はクローズ、議事録については会誌に掲載報告している 行政機関の立ち位置では、一般傍聴受入可となっている 年 2～3 回の内、1～2 名位ではなかったか
- ・ 行政機関が公開は基本であろう オープンに基本的には賛成だが、公開するにあたっては、理事会事前の議事議案の精査が必要ではないか
- ・ まずは、申し込みも今まで無かったのかもしれないが、規定も無い 整備が必要
- ・ 理事会だけでなく、委員会総会も含めた、千葉県社会福祉士会の傍聴についての規程として考えても良いのではないかと

説明：総務委員会委員長

- ・ 規定を整備してから HP にアップすることとする

事務局次長：

総務委員会 広報部会の理事以外の理事会傍聴について認めるか否か

賛成の方挙手をお願いする→賛成 11 名、反対の方挙手をお願いする→反対 2 名

→承認

事務局次長：

- ・ 次回理事会で規程整備のためのチーム作りから始める

(ばあとなあ千葉)

説明：ばあとなあ千葉運営委員長

- ・ 未成年後見について、来年2月を目途に各県士会で整備をと日本会から話が来ている
- ・ 法人後見の執務担当者について、昨年に引き続き主担当副担当をお願いすることとした

(司法福祉委員会)

説明：司法福祉委員会副委員長

- ・ 5月に弁護士との協議会、6月に委員会を行った
- ・ 加除出版から『刑事司法ソーシャルワークの実務』について約2年前から依頼されている件、出版は8月末から9月初旬になると思われる

(災害対策委員会)

説明：災害対策委員会委員長

- ・ 9月30日に災害対策研修会を開催する 理事全員のご出席をぜひお願いする

(研修委員会)

説明：研修委員会委員長

- ・ 9月16日理事会終了後、午後から生涯研修センター会議開催予定している、ぜひ参加いただきたい
- ・ 10月28日にはワンアップ研修開催予定である

(事務局)

説明：事務局長

- ・ 総会資料「収支報告書」の収入の差額欄一部計算が抜けていた 本日の総会は当日配布資料報告させていただく 尚、決算報告に変更はない
- ・ 平成30年度消費税等の租税公課が確定したため、補正予算のご承認をお願いしたい

質疑：

- ・ 支出だけが増えてしまわないように、予備費を租税公課へ振替すべき

説明：

- ・ 次回予備費と振替での補正予算案再提出予定とする

・ 年会費徴収および、ばあとなあ千葉名簿登録料徴収について、「4月1日現在所属が今年度の年会費の要件だとしても、引落の前にご逝去された場合、年会費および名簿登録料について、『引落前（徴収前）であれば自動振替（徴収）手続しない』ことを内規として定めたいご承認をお願いしたい

- ・ 厳密に今年度の会員であったからとご逝去後に引落されなかった場合に請求が出来ないであろう ケースバイケースの運用と考えていただきたい

質疑：

- ・ 年度を跨いで後から前年度のご逝去が分かった場合の対応は？返金対応はするのか？

- ・ ご逝去知らずに引落手続きした場合でも、手続きまでの期間によっては口座閉鎖されている場合もある
- ・ 毎年4月1日から債権発生とは規則規程には書かれていない 口座閉鎖され引落も出来ないのではと推察されるが、徴収は難しいのではないかと
- ・ 決まりは決まりとして確認したうえで、ご逝去されたことを知らせていただいたご家族に対して、引落手続き前であれば、あえて手続きしなくてもよいのではないかとという運用の話であろうと受け取れた

事務局次長：

『引落前（徴収前）であれば自動振替（徴収） 手続きしない』ことを内規とすることについて賛成の方挙手をお願いする→賛成 11 名、反対の方挙手をお願いする→反対 0 名

→承認

議事

① 平成 30 年補正予算について

平成 30 年消費税・市県民税の納税額確定に伴う租税公課の金額変更

→承認

② 個人情報取扱いについて

事務局次長：

- ・ 個人情報保護規定が定まっていない段階で、ばあとなあの名簿登録員の方から昨年度2月に活動報告書に添付して提出いただいた個人情報について、活動報告の確認作業を進められることと思うが、どこでどんな作業されるか含め現状の報告をお願いしたい

説明：ばあとなあ千葉運営委員長

- ・ 前回理事会で意見交換させていただき、専門家交えて検証を進めると報告した 現在は、業務管理部会で内容確認精査段階である 今年度は試行であるから、来年度以降どうするか 今回出てきた課題含め検討していく予定である

質疑：

- ・ 活動報告書を持ち帰り作業とも伺った 個人情報の取り扱いについて確認したい

説明：ばあとなあ千葉運営委員長

- ・ 今回初めてお預かりした個人情報について、移動させず、7月に複数回業務管理部会員が事務局に集まり確認精査予定である

質疑：

- ・ 紛失の危険等、諸々考えあわせ、持ち帰りは問題があるかと考える 今までは持ち帰り対応であったが、一度見直しを検討されても良いのではないかと
- ・ 読込作業は時間が掛る大変な作業と推察されるが、現実問題として事務局で作業されることは可能か
- ・ 研修等で提出いただく課題も個人情報が含まれている可能性が無いとは言い切れない 時間を取り事務局で確認が望ましいと思う
- ・ ばあとなあとして個人情報に関する保険対応はあるのか
- ・ 現在入っている保険の定款調べた方が良いと思うが、現在は対応した保険には入っていないではないか

説明：弁護士会理事

- ・ 活動報告書を見ていないのでどんなことが記載されているかが分かっていないのであるが、事務局で確認作業されるのが一番であろう

説明：司法書士会理事

- ・ 紙の報告書時代は、事務所で確認作業を行っており、持ち帰りは一切禁止であった 件数に応じた人員を確保して作業していた
- ・ 現在は、デジタル報告で個人の特定できるものは一切無く、通帳のコピーは残高のわかる最終ページのみの添付報告し、収支と添付された通帳の最終ページの残高が合っていることが確認されたら、添付は消去を選択し残さない 紙ベースでの保管は一切しないという管理である
- ・ どこがどこからが個人情報に該当するのかについては、活動報告書がどんなものか分かっていないのではあるが、総合的にみてなるべく早く専門家のスクリーニングを受けるべきと考える
- ・ リーガルとは違って、ぱあとなあは会の中にあるひとつの委員会であるから、責任主体は会長、副会長、責任が問われる 会長、副会長は内容がどうなっているのかを把握すべき

説明：MSW 理事

- ・ 勤務先が病院なので、持ち出しは考えられないこと 倫理委員会を通し対応している現状である

説明：ぱあとなあ千葉副運営委員長

- ・ どれだけ時間が掛るかを考えると事務局にその時間いて作業は難しい 今回の質疑は通帳コピー等の個人情報の取り扱いについてのことである それについては今回持ち帰りをしないこととして、事務局に複数が集まり確認精査することになっていることを改めて報告する
- ・ 事務局に複数人で集まっただけの作業が一番の望ましいと、改めて感じるが、勤務型の社会福祉士が 8 割を占める中でその対応を考えたら、業務管理部会の構成も変えなければならなくなる いま出来る可能な範囲での対応をさせていただきたい 今後の検証、専門家への相談が必要と考えている

③ 役員報酬について

説明：事務局長

- ・ 理事会、三役会、総会開催委で試算した 理事会 22 名 * 2,500 円 * 6 回で 330,000 円、総会 4 時間超として 22 名 * 5,000 円 * 1 回で 110,000 円、三役会 7 名 * 2,500 円 * 7 回で 122,500 円、合計 562,500 円役員報酬が掛ってくるが、予算に役員報酬では取っていない予算の項目を新たに設けて補正予算を提出して運用したい
- ・ 各委員会に対する報酬については理事会で報告した方が宜しいかと思うが、運用についてご意見いただきたい

質疑：

- ・ 規程にあるのであるから良いのではないかと 今まで報酬が出ていると思われていたりもするので、選挙に向けては今後規程通り運用されること明確に告知できたら良い
- ・ 予算も取れるのであるから報酬規程通り運用で良いのではないかと 後から続く方のためにも良いと思う

- ・ 予算のヒアリング段階で委員会報酬を含めて示すことができるのではないか
- ・ 予算を理事会で承認いただくことで、委員会開催後の個別報告無くて良いのではないか

事務局次長：

- ・ 役員報酬の運用については次回理事会でも報告させていただく

④ 平成 30 年度の三役及び各委員会担当理事について

事務局次長：

- ・ 新体制理事の三役及び各委員会担当理事について資料巻末に予定として掲載した

副会長：

- ・ 総会で新体制の理事が承認された後、形式ではあるが退席して代表理事を選任するので
はないか

質疑：司法書士会理事

- ・ 定款第 12 条 5 項に「会長は、理事会において選定する」とある 定款通り、則った対応が宜しいのではないか

会長：

- ・ 形式通り行う

事務局次長：

- ・ 総会終了後、招集はしていなかったが代表理事選任の臨時の理事会を開催する

⑤ 第 6 回定時総会について

事務局次長：

- ・ 議長を相澤副会長、司会を奥野副会長にお願いする

相澤副会長：

- ・ 議長の予定している立場からご提案申し上げる 想定ではあるが監事も含めて過半数
を獲得し、理事、監事ともに承認され、5 分間の休憩中に新役員は一旦ロビーへ集合、新役
員で会長の互選および三役の選任をする 代議員は 5 分後に着席、ご協力をお願いする こ
の流れでいかがか

事務局次長：

- ・ 総会については、以上の流れでお願いする
- ・ 議事については、以上であるが、冒頭の会長挨拶の中で少しお話した「ばあとなあ名簿
登録員の方より以前からご要望いただいている件等について」

会長：

- ・ 平成 26 年 11 月の話である ばあとなあ登録員の方がばあとなあ執行部 3 名より受けたこと
について研修に参加したいが 3 名が担当者として表におられると参加できない
希望する研修から 3 名の方を外していただけないかとのことのご要望があった
ばあとなあ運営委員会で検討いただき、ご要望の対応はできないとの回答があった
今回は、具体的には 7 月 1 日の研修については、日程他今からの対応難しいと理解したが、
原因の如何は別として、現在のご本人の状態に鑑み、今後、可能な範囲での配慮を考えてい
ただきたい

監事：

- ・ 本日が最後の理事会出席である 最後に 3 点述べさせていただく

- ・ 会長含め、会の理事が発信するものは個人発信とは違う 聞いた人、見た人、読んだ人がどう受け取られるかを考えていただきたい

- ・ 報告書に関する個人情報の取り扱いについては、全国的な問題である 他団体のオンライン化の話出ていたが、日本会でもコストを掛けて考えてもらえるよう提案しても良いのではないかと

持ち帰りは論外とを感じるが、実務的に集まっただけの作業難しければ、個人が持って移動するのではなく、追跡可能な方法で、配送業者に依頼して運ぶ、又はスキャンして暗号化する等考えても良いのではないかと

任期満了退任理事・監事挨拶

相澤副会長：

- ・ 総会の議長を任命いただくことになっているが、理事は退任させていただく事になった 今後は香取海浜地域での活動、代議員として地域の意見を総会の場に持って来られるような活動を引き続き行う これからもよろしく

奥野副会長：

- ・ 理事としては退任するが、監事として2年間の任期を迎える これからもよろしく

鈴木理事：

- ・ ぱあとなあ担当理事、2年間させていただいた 今後、ぱあとなあも若い方が理事となる今後の発展を祈念する

池亀理事：

- ・ 8年間理事を務めさせていただいた 8年間で一番印象に残っているのは、当会の災害に対するフットワークの軽さ、熱い思い、丁寧な対応に大変感銘を受け、リーガルの総会でも報告させていただいた 8年間勉強させていただいた ありがとうございます

岡本監事：

- ・ みなさまありがとうございました

事務局次長：

以上で、第2回理事会を終了する 午後は第6回定時総会開催引き続きよろしくお願いする

12:29 閉会